

壱岐対馬航路活性化協議会

平成20年12月24日設置
平成21年 7月17日連携計画策定



概要

壱岐対馬航路においては、近年の燃料油価格高騰や人口減少による利用者減少により、その取り巻く現状は年々厳しくなってきました。航路運行事業者の経営努力の限界を超え、減便や運賃値上げが相次いでいる。

壱岐市、対馬市の振興のためには、本土と両市を結ぶ航路の安定的な維持、観光客誘致及び新たな航路利用者の掘り起こしが不可欠となっている。そのため、広域行政における公共交通の充実及び活性化を図るための平成21年7月に策定した壱岐対馬航路公共交通総合連携計画に基づき、地域住民、行政、交通事業者等の関係者が協力して航路の維持・増進に取り組む。

○利用者ニーズに配慮した運航ダイヤ見直し

- ・増便実施の課題整理、運航時間変更の可能性検討、実証実験実施手法の検証・実証実験

○利用者ニーズに即した割引サービスの向上

- ・割引、支払い方法（クレジット）、指定席導入（ジェットフォイル）に関するシステム導入

○公共交通マップ及び乗り継ぎマップの作成

○観光客ニーズを取り込み、観光客の航路利用を促進する新たな観光ルートの形成

- ・観光客のニーズを考慮し、販売ターゲット別（エリア、年代、性別）の壱岐-対馬の航路を利用促進する観光ルートの開発、商品化

○「ニューつしま」の省エネ化

- ・効率的な航路運営を図るための「ニューつしま」の省エネ化

